

最大でも1:2未満を目標とし、選挙民の関心を少しでも投票所に呼び戻すべきである。

当会としてもできる限り、参加協力したい。

#### (1) 公共事業の再点検運動の全国展開

#### (2) 市民参加型政策フォーラム・政策調査会プロジェクト2010

なお、市民政調の主な活動テーマとして民主党提案の三条件（イ、介護保険と総合社会支援ロ、NPO・市民セクター形成 ハ、公共事業の見直し）のほか ニ、特殊法人の見直し ホ、郵政三事業の民営化も興味あるテーマである。

### H. 平成8年度補正予算 及び

#### 9年度予算審議について

1. いろいろ努力されたと思うが、結果として公共事業補助金システムに内在する利権構造の体系的見直しは行われず、省庁別公共事業予算シェアも不変で「構造改革元年」の掛け声とうらはらにまたバラマキ予算になった。

2. この段階で、民主党には「基本理念」「基本政策」の方針に立ち、最後まで抜本的な構造改革と予算削減への努力を期待していた。政府与党との妥協で腰抜けになったのは残念であった。国民から9兆円も増徴する一方でバラマキ予算に国民が納得できる筈がない。

最近郵政三事業の民営化に反対されたのも残念である。民主党が寄合所帯だとしても、これでは利権維持に狂奔する官僚や、各論で反対する業界と選ぶ所はない。

民主党の理念はどこへ行ったのか。

3. その後、“執行段階で配慮する”申し合わせに従い、政府内でも公共事業の繰り延べ案が検討されているが、これでは現状の手直し程度であり、構造改革の名に値しない。

4. 引き続き平成9年度執行予算を含め、以下の努力をお願いしたい。

(1) 公共事業：不要不急事業の中止及び省庁別シェアの変更を含む抜本的削減。公開競争入札の即時実施。

(2) ウルグアイ関連農業用土木建設予算の廃止または大幅縮小。

(3) 整備新幹線の凍結と民間事業主（JR各社）への完全な権限委譲。

(4) 特殊法人の廃止、縮小、民営化。

(5) 郵政三事業民営化の方向で検討。

### I. 国際関係について

#### 1. 歴史認識

民主党の歴史認識と信頼／協力のネットワークを拡げる方針には同感だが、我国の侵略行為や慰安婦問題への謝罪のみをいつまでも正義漠然として繰返すことは、素朴な国民感情として共感できない。これらの問題にフタをすべきと云う意味ではなく、全社会的な人権問題の討議に際し、例えば天安門事件、原爆投下、欧米列強の植民地支配、アベルトヘイト、旧ソ連や中国の周辺少数民族への弾圧などの関連において言及するのであれば、我国の主張に公平さと客観性を与え説得力を高めるのではなからうか。

#### 2. 国連改革と地域的安全保障

(1) 日本が国際社会での発言力を確保する一つの手段として、国連に軸足を置いた活動を行うことは有益である。常任理事国に選ばれることを我国の明快な方針とし、対米追従ではない我国独自の平和路線を追求すべきと考える。但し、現在国連及び付属諸機関が日本政府と同様肥大化／官僚化／利権化／腐敗している実態はあまり知らされていない。臭いものにふたをせず、実態を明らかにすると同時に国連の抜本的な行財政改革の実現に我国として最大限協力しなければならない。改革が実行されないのであれば、日本も財政面での協力はしない覚悟で改革を求めるべきである。

(2) 国際的集团的安全保障制度に参加する範囲では憲法の見直しも検討の対象にすべきと考える。

### J. 憲法の見直し

我々は敗戦、占領下と云う特殊環境下で成立した憲法が戦後半世紀以上経過し、世界も日本も大きく様変わりした中で実態と乖離している面も多く、又新しい国造りの障害になっている点もあることを率直に認める。その意味で、新しい国造りの観点から一切のタブー抜きで日本国憲法の見直しの議論を始める時期に来ていると考える。見直しの方向と内容については別な機会に議りたい。

(完)

〔お詫びと訂正〕 前回7月号(1)

P.4 右段下から21行目：情報公開報→情報公開法

P.5 右段上から3行目：副紙面→福祉面

P.5 同上6行目：抜本的見直し→抜本的見直し